

おおさかしりつ いくの としょかん 大阪市立 生野 図書館

〒544-0021 大阪市生野区勝山南4-7-11 電話 06-6717-2381

耳の不自由な方など、電話の使えない方は⇒ ファックス 06-6717-3119



いまざとライナー・シティバス「大池橋」をおりて、南西に歩いて200メートル

あいている時間

火曜日～金曜日（第3木曜日はお休み）……………10時～7時
土曜日・日曜日・祝日・7月21日～8月31日の月曜日…10時～5時

休みの日

月曜日、毎月第3木曜日（祝日と7月21日～8月31日の月曜日はあいて
います）、年末年始、蔵書点検期間



おおさかしりつととしょかん
大阪市立図書館ホームページ

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

オムリンです
よろしくね

2019.11
2023.10 改訂

こども版調べかたガイド：各区版



①御勝山(おかちやま)について

たしま
②田島のレンズについて




生野区マスコットキャラクター いくみん

この調べかたガイドは、区ごとに2つのことがらを選び、それについて調べるのに
役立つ図書館の本や、ホームページで見られる情報を、まとめたものです。

ID ……大阪市立図書館の「書誌ID」（問い合わせや予約をする時に便利です。）

* ……生野図書館にあるもの（*の無いものも、予約して取り寄せることができ
ます。）

 ……小学生から読めるもの

WEB ……大阪市立図書館のホームページにのっている情報です。

しょうかいした本やホームページなどは、一例です。
図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも、「よくある質問」や
区に関する資料のリストがあります。見てみてください。
もっとくわしく知りたいときは、図書館のカウンターで相談してください。図書館
司書がお手伝いします。

御勝山(おかちやま)について

もとは「岡山」と呼ばれていた「御勝山古墳」(勝山北3丁目)は、

江戸時代、徳川秀忠が大坂夏の陣の時に本陣をこの場所にお

き、ここで勝利を祝ったことから「御勝山」と言われるようになりまし

た。御勝山古墳は前方後円墳でしたが、今は前方部分が勝山通

りと勝山南公園となり、後円墳部分だけが残っています。

生野区役所のホームページには、写真が紹介されています。



「御勝山」(『浪花百景』より)



「御勝山古墳」

(「生野区役所ホームページ 生野区の史跡・旧跡」より)

WEB「デジタルアーカイブ」→「簡易検索」→「御勝山」より

『郷土誌生野』郷土史生野刊行会 [1991] *ID 0090011434

収録「1号 御勝山古墳について」長山 雅一[執筆]

『わがまち生野』生野区役所 [1997] *ID 0000625207

生野区役所ホームページ 生野区内の史跡・旧跡

<https://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/page/0000000016.html>

たしま 田島のレンズについて

田島のレンズは、1831(天保2)年田島村の農家に生まれた石田

太次郎がつくりはじめたと言われています。太次郎は、幼いころ

足にケガをしたために、農業の手伝いはできませんでした。そこ

で丹波の国に行き、めがね製作の技術を習い、村に帰って人々

にその技術を教えました。その後レンズ工業は発展し、外国に

輸出するようになりました。『生野の民話』には1913(大正2)年には、

田島村で眼鏡専門工場が初めて生まれ、当時日本一の眼鏡生

産地になったとあります。また田島神社の境内には、村人を失業

から救った太次郎の「報徳碑」が建てられ、

毎年11月3日にその功績をしのび、感謝祭が

行われています。

生野区マスコットキャラクター いくみん



『大阪春秋41号 大阪の伝統産業』大阪春秋社 1984 ID 0090000392

『生野の民話』堀井守三編著作 [大阪市]生野区役所 2000 *ID 0000816588

生野区役所ホームページ 生野ものしり辞典

<https://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/page/0000000045.html>